

”居場所×音楽”音あそび小屋



実施者：一般社団法人音あそびラボ

社会や地域の課題

子どもたちが生の演奏や楽器に触れる機会が少なく、一部の習い事等をしている児童を除けば音楽が身近で楽しいものと言えなくなっている。また、不登校や、周囲と馴染めないなど”集団での遊びや生活に欠ける”児童が一定数以上存在している。夜になっても家には誰もおらず施設の定時以降居場所の無い児童が存在する。

そして地域の音楽家が活躍する場が少ない。

取組概要及び成果

私たちは、音楽の体験を”あそび”にとらえ、手段や練度にとらわれない自由な発想で楽しむ体験づくりに取り組みました。専門性を持った大人が介入することで、それぞれが音楽を通じて自分を表現したり年齢や立場の異なる者同士が役割を持って自然と存在できる場が生まれました。そのことで、子どもたちが自分や他者を認める肯定感が育まれたり、子どもと常時向き合うことで消耗している保護者の方の休息の場となることができたように実感をしています。

また、地域の演奏家の活躍の場を作り経済活動が生まれることで文化振興への貢献や、演奏家と子どもたちとの交流を生む活動により地域の持つ可能性を見出したのではと考えています。